



家畜保健衛生所だより

R7.7.1

農場内で使用する敷料等の適切な管理と 野生動物の侵入防止対策について

県外において、豚熱陽性イノシシの死体が、畜産農家が敷料として利用するために集積していた籾殻の中から発見されました。この籾殻は、養豚場内に持ち込まれていたことが判明しています。また、豚熱発生農場で、敷料として保管されていた籾殻が、野生動物を誘引していた可能性があることが国から報告されています。

農場で使用する敷料等の資材については、下記のとおり適正な管理・使用をお願いします。

- ① 敷料が野生動物の誘因となり得ることに留意し、野生動物の侵入防止に万全を期す。
- ② 敷料などの資材を農場内に搬入する際は、野生動物による汚染防止対策が適切に行われていることを確認する。
- ③ 資材の保管場所に野生動物の侵入痕跡を発見した場合は、農場内の消毒を実施する。

愛媛県では、昨年7月に初めて野生イノシシに豚熱感染が確認されて以降、これまでに9頭の感染が確認されています。現在も、農場内への豚熱ウイルスの侵入リスクは極めて高い状況が続いています。野生動物の侵入防止対策や出入りの際の消毒等の飼養衛生管理基準の遵守徹底をお願いします！

野生動物の侵入防止

- 防護柵等を設置し、定期的に破損状況の確認・修繕をする
 - 野生イノシシの接近を防ぐため、防護柵外周の除草を行う
- ### 人・物・車両によるウイルスの持ち込みの防止
- 衛生管理区域、畜舎への出入りの際の洗淨・消毒の徹底
 - 衛生管理区域専用及び畜舎の衣服、靴の設置と使用の徹底
 - 人・物の出入りを記録する

飼養豚に異状が認められた際には、速やかに家保まで連絡をお願いします！

中予家畜保健衛生所（東温市田窪 743 番地）

電話 089-990-1333 緊急連絡先(夜間・休日) 090-6282-6129